

社会福祉課 家族や仲間の大切さを知る 障害者理解促進講演会



リハビリ生活について語る新谷さん

3月27日、障害者理解促進講演会を庄原市ふれあいセンターで開催し、約40人が参加しました。広島県出身で元マウンテンバイクエリート選手の新谷直也さんが「障害を乗り越えて」をテーマに講演を行いました。新谷さんは、8年前にマウンテンバイクのレース中に落車し、脊髄を損傷。404日間の入院、リハビリ生活を経て社会復帰を果たしました。講演では、新谷さんが社会復帰するまでの体験やエピソードを、写真と動画を交えて紹介し、「家族や多くの仲間を支えられ、障害を乗り越えることができた」と語りました。参加者からは「当時の心境など、実体験をもとに具体的に話を聞くことができ、日々の過ごし方や仲間の存在の大切さを改めて感じることができた」などの意見が寄せられました。市は、今後も障害の有無に関わらず、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けた取り組みを実施していきます。

教育指導課 楽しい学校生活の始まり 庄原市立東小学校入学式



新入生が元気に起立！

4月7日、市内の全小学校で入学式を行いました。東小学校では、男子11人、女子13人、計24人が入学しました。式典が始まると、新入生が6年生に連れられて、少し緊張しながらも笑顔で入場しました。続いて新入生点呼では、一人一人が元気に返事をしました。式典で、一山栄治校長は「1年生のみなさん、入学おめでとうございます。皆さんが入学してくる日を楽しみにしていました。学校では、あいさつと返事をする事、話を最後まで聞くこと、手洗いとうがいをすること、この3つを頑張りましょう」とお祝いの言葉を贈り、新入生は新しく始まる学校生活への期待に胸をふくらませている様子でした。本年度、東小学校は教育目標を「自ら考え判断し行動する児童の育成」とし、全校児童147人の成長を願い、職員一丸となって教育活動に取り組んでいきます。

高齢者福祉課 超長寿時代の暮らし方 在宅医療・介護についての市民研修会、男女共同参画・人権啓発セミナー



講演する春日さん

3月26日、庄原市ふれあいセンターで、「令和3年度庄原市在宅医療・介護についての市民研修会」「男女共同参画・人権啓発セミナー」を開催しました。高齢社会をよくする女性の会広島代表の春日キスヨさんが、「百まで生きる覚悟 超長寿時代の暮らし方、つながり方」と題して、高齢者介護の問題やコロナ禍が高齢者に及ぼした影響などについて講演しました。春日さんは「超長寿社会が進み、周りに支えてくれる家族がいらない単身者が増えている。もし自分が倒れたときどうすればいいか、元気なうちに考え、知識を持ち、備えてもらいたい」「これまで好きで続けてきたことはこれからも続けてほしい。人とのつながりが自分を奮い立たせる気力となる」と話しました。参加者からは「これから少しずつ（終活の）準備をしていきたい」「元気をもらえた」などの感想が寄せられました。

口和支所 4月1日から営業再開 鮎の里公園オープンイベント



そば打ちを体験

昨年4月から施設利用を休止していた「庄原市鮎の里公園」が、4月1日に営業を再開し、オープンイベントを開催しました。イベントは、4月1日～3日の期間で行い、「おでかけ満月マルシェ」の開催やそば打ち教室などが行われました。おでかけ満月マルシェでは、市内13事業者によるケーキ、餅、アイスなどの販売が行われ、子どもから大人まで多くの人々が来場しました。この3日間は、天気にも恵まれ、家族でピクニックをする人や入浴をする人など、思い思いにイベントを楽しんでいました。今後、レストランのメニュー見直しや、オートキャンプ場の整備を行うとともに、アユや比婆牛などの地元食材を使った料理を提供し、自然の中で癒やしを得られる場を提供していきます。



会場では生け花体験も行われた

営業再開による新たな取り組み ①フロント・ロビーの改装 明るく開放的な空間を提供します。 ②レストランのメニュー見直し・テイクアウトメニューの販売 以前のメニューも残しつつ、新たなメニューを準備し、テイクアウトにも取り組むなど、充実した料理を提供します。 ③公園内遊休地を利用したオートキャンプ場の整備 四季折々の自然を楽しんでもらえるよう、西城川河畔という立地を生かしたオートキャンプ場を整備中です。

商工観光課 観光資源を生かしたワーケーションの開発 ワケーションモニターツアー



古民家を視察

3月27日～29日、日本航空株式会社と連携し、ワーケーション（旅先で休暇を楽しみながら働くこと）の可能性を探るモニターツアーを実施しました。このツアーは、本市の豊かな自然環境やさまざまな体験メニューを活用したワーケーションプランを設定し、企業研修や個人事業主のワーケーションを誘致することを目的に行いました。当日は、同社の社員4人が参加し、ラフティング体験や観光誘客のアイデアを出すワークショップなど、2泊3日のプログラムを体験。参加者は、プログラムを通して感じた、本市におけるワーケーションの魅力やプラン作りのヒントなどを市へ提言しました。今後は、ツアー内容の充実を図るとともに、企業などへのプロモーション活動を進めていきます。



観光誘客のアイデアを出すワークショップ



西城川でラフティング体験